

厄払祭文

これの神床にめどうとしてお鎮まり下さいます
親神天理王命の御前に天理教 分教会長

慎んで申し上げます

県 郡 町 番地に住まわ

れる はかしものかりものの恵みを十分に
受けこの度 歳を迎えさせて頂きました お
陰様で只今では毎日陽気に暮らさせて頂いて居り
ます しかし 歳と云えば世間では女の厄年と
も云われております 誰しも越さねばならない一
つの峠であり大切な節であると悟らせて頂きます
が お道のものとして この節から却て解かな芽
を出すべく 一層の心の成人をはかり大きなお役
を背に負って勇んで と の神殿ふしんに心
をそそぎ 引続き打出された上級神殿ふしんの上
にも存分の御奉公を誓わせて頂きます
どうかこの厄年を大難は小難に 小難は無難に
お連れ通り頂き お道を信じる者の光を喜びを却
て周囲に移していきますよう お導きの程を本人
に代わり慎んでお願い申し上げます